

第五回定例会一般質問(抜粋) 就学援助制度の充実を



熊本和夫議員

中核市7市においては、中学校入学期に「入学準備金」を支給しており、本市においても、経済的に困窮している家庭の更なる負担軽減に向けた取り組みが求められている。就学援助制度の充実にどのように取り組まれるのか。

篠塚教育次長 「新入学用品費」に代わり、新たに小学

校6年生を対象とした「入学準備金」を設けるとともに、今議会に補正予算を計上し、来年3月からの支給を予定している。今後、全ての保護者へのパンフレットの配付などにより、制度の周知徹底を図っていく。

その他の質問項目
市長4期目の市政運営と第6次総合計画の策定について
LRTについて

宇都宮駅東口地区整備事業について
人口減少・少子化社会へ向けた子育て環境のさらなる整備充実について
保育士の確保とちぎ保育士・保育所支援センターについて
B型肝炎予防接種について
ドスティーンションキャンペーンについて
ミッドナイト競輪について

第五回定例会一般質問(抜粋) 介護予防・日常生活支援総合事業の円滑な導入を



角田充由議員

介護予防日常生活支援総合事業が、来年4月からスタートする。より丁寧な情報提供や事業周知の取り組みが求められている。また、生活支援コーディネーターの配置が重要であり、今後どのように進めていくのか。

本橋保健福祉部長 今後、更なる事業周知に取り組んでい

くとともに、地域包括支援センターや介護保険サービス事業者などを対象とした研修会の開催に取り組んでいく。また、本市にふさわしい実効性のある生活支援コーディネーターが早期に配置できるよう、検討を進めていく。

その他の質問項目
市長の政治姿勢について
LRT事業 公共交通ネットワークの利便性向上に向けて

第五回定例会一般質問(抜粋) 乳がん検診に超音波検査の導入を



山崎昌子議員

最近では、30代や40代の若い年齢層で乳がんに罹る方が増加し、50歳以上の方の死亡も増加している。早期に見るためのがん検診が非常に重要であり、超音波検査の導入が必要ではないか。

佐藤市長 「マンモグラフィ検診運営委員会」において、「国の指針改正を踏まえ、視

触診に代えて超音波検査を導入し、マンモグラフィと併用すれば、より精度の高い乳がん検診となる」とのご意見をいただいているところであり、平成30年4月からの実施に向け、取り組んでいく。

その他の質問項目
市長の政治姿勢について
交通未来都市うつのみやの主軸となるLRTの市民参加促進 仮称大谷スマー

た取り組み 姿川地区における地域内交通について
障がい者政策について
バリアフリーマップ チェックアンドアドバイス制度 福祉避難所について
健康ポイント事業について
一条中学校跡地の活用について
文化遺産を活用した宇都宮活性化プロジェクトについて

トインターチェンジの整備に伴う観光地大谷の活性化
地球温暖化対策について
義務教育段階の普通教育を学び直すことができる夜間中学について
宇都宮市文化会館のリニューアルオープンについて
野口雨情の文化発信と終えんの地である旧居保存について

第五回定例会一般質問(抜粋) 宇都宮産ブランド米の生産振興を



内藤良弘議員

国は減反政策を平成30年産から廃止し、米の直接支払交付金についても廃止される。宇都宮ならではのストーリー性があるブランド米の創出や需要や出口を見据えた米の生産振興など、売れて儲かる米を生産販売していくことが必要ではないか。

佐藤市長 宇都宮産米のイメ

ージを引き上げる地域ブランド米の創出や多様なニーズに対応した米の生産が大変重要。「宇都宮ブリッツェン米」や「ゆうだい21」などの生産振興に努めるとともに、宇都宮が全国有数の米の産地となるよう取り組んでいく。

その他の質問項目
本市への定住及び東京圏からの移住・定住の促進について
平成27年国勢調査結果につ

第五回定例会一般質問(抜粋) グローバル社会を生き抜く英語教育の充実を



増淵一基議員

子供たちがグローバル社会を生き抜くためには、生きた英語力を身につけさせることが必要不可欠。多くの小学校教員が、英語を教えなければならぬことに不安を持っている中、本市の英語教育の充実強化に今後どのように取り組んでいくのか。

水越教育長 ALETと触れ合

い、会話する活動をこれまで以上に取り入れ、指導の充実を図っていく。また、平成29年度からは、地域学校園の中学校英語教員を指導者とした校内研修の推進など、教員の指導力向上に取り組んでいく。

その他の質問項目
宇都宮城址公園内の爆発事件について
情報システムのクラウド利用について

空き家対策について
働く人の心と体の健康づくりに関して
子ども食堂による地域における子育て支援について
ひとり親家庭への就労支援について
農コン事業について
LRTトータルデザインの取組みについて
広域的なサイクリングルートについて

市民の声

市民の方から本紙をはじめとする当会の活動等に関する数多くのご意見・ご要望等が寄せられています。下記にその一部をご紹介します。

- ・図書館が指定管理制度で民間に運営が委ねられ、市民サービスが悪くなったという声があります。元に戻すことはできないのでしょうか？
図書館では、市民に対する満足度調査などを行っています。90%の人が満足していると回答しています。今後もさらに市民サービスを充実させるよう働きかけていきたいと考えております。
- ・市議会での政務活動費の使い方についてマスコミなどで問題が報じられていますが、宇都宮市議会自民党会派では、適正な使い方がなされていますか？
決して心配はいりません。自民党会派では、個人に政務活動費を配分せず、会派としてまとめて管理し、会派内部に監査なども置き、厳格に対応しています。
- ・市の中心に住んでいるのですが、近くに公園がないので、日曜日など子どもを遊ばせる場所がなく困っています。
現在、市中心部には、本丸町の宇都宮城址公園や八幡山公園があります。今年3月には、八幡山公園北の宇都宮市斎場跡地が戸祭山緑地の一部として供用開始となります。また、市では室内の遊び場(うつのみや表参道スクエア6階 ゆうあいひろばなど)を設置し、子どもたちが遊び集える場所を提供しています。ご利用されてみてはいかがでしょうか。公園が全市的に整備されるよう、今後も働きかけていきたいと考えています。

今後とも、多くのご意見・ご要望をお寄せください。